

## マーケットの動き（2024年3月11日～3月15日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。

2月の米国CPI（消費者物価指数）が市場予想をやや上回り、インフレ沈静化には時間を要するとの見方が強まりました。2月の米国PPI（卸売物価指数）の前月比上昇率も上振れたことから、米国の利下げ開始が先送りされるとの観測が高まり、長期金利は上昇しました。

欧州国債市場は、おおむね米国に連動した推移となりました。

## 投資環境見通し（2024年3月）

## 長期金利は、米国、欧州（ドイツ）ともにレンジ内で推移

**米国：**景気が軟着陸するとの見方に加えて、インフレ率鈍化の遅れから、早期の利下げ観測は一旦後退していますが、足元の経済指標の下振れに加え、これまでの政策金利引き上げの影響もあり、長期金利は当面レンジ内での推移を予想しています。

**欧州：**ECB（欧州中央銀行）は根強い賃金インフレに対する警戒感から利下げに慎重な姿勢を示しています。一方で、これまでの金融引き締めによる景気悪化懸念もあり、ドイツ長期金利はレンジ内で推移するとみています。

	3月15日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	4.31	0.23	0.08	▲0.02	0.82
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	577.15	0.04%	▲0.03%	5.36%	14.58%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

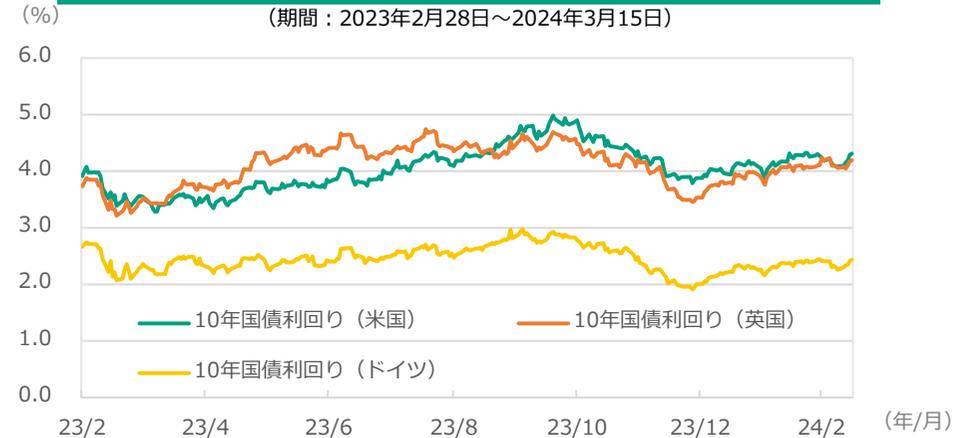
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202403\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202403_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 主要国国債利回りの推移

（期間：2023年2月28日～2024年3月15日）



## FTSE世界国債インデックスの推移

（期間：2023年2月28日～2024年3月15日）



※2023年2月28日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成